



「大きくなって元気にかえってきてね〜!」願いを込めてサケの稚魚を放流
～鴛小1・2年生サケ稚魚放流体験より～

平成21年 5月号

広報 

いしし富士

No.216

平成21年度

町政執行方針

平成二十一年度の町政執行について私の所信と基本的な方針を申し述べるにあたり、町議会の皆様をはじめ、町民各位のご支援とご協力をいただきながら、町民ニーズに的確にして迅速に対処し、諸課題に対応してまいり所存でありますので、特段のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

はじめに、去る二月十七日に忽然と急逝されました京谷議長には、五期二十年という永年の議員生活の中で、副議長として四年間、議長として八年間に亘り町政の推進、発展にご貢献いただきましたこと功績に心から敬意と感謝の誠を捧げ、生前の議場における活躍の雄姿を今思い起こすとき万感胸

**「豊かさを実感しながら
元気で暮らすことができる
快適なまち」を目指して!**



に迫るものがありますが、ここに心からご冥福をお祈り申し上げ、願わくは郷土の泉下に安らかに眠りいただき、とこしえにご遺族を守り利尻富士町の発展を見守っていただきますよう念願し、哀悼のことばとさせていただきます。

今年、町制施行五十周年の節目の年であり、利尻富士町にとっては誠に意義深い年になりました。

今日まで当町の発展にご尽力いただきました先人のご功績に敬意と感謝を申し上げるとともに、先人の偉業を受け継ぎ、更なる発展の出発点にしたいと存じます。

私は、平成十三年に町民の皆様から温かいご支援をいただき初当選し、二期目は無競争という栄を受けて、信頼と期待を担う町政の重大な任務を与えていただきました。今年二期目の総括の年となり、改めてその責任の重大さを痛感し身の引き締まる思いであります。

地域の皆様が主役の町政・地方自治体としての自主性を重視しながら、町長就任以来今日まで行財政の厳しい中、町民の皆様が「豊かさを実感しながら

元気で暮らすことができる快適なまち」の実現を目指して、長年の懸案事項の取り組みや将来に向けて希望の持てるまちづくりのために、全力を傾注して町政の推進にあたってきたつもりであります。

今年度におきましても、私に与えられた使命と責任の重さを今一度再認識し、町民皆様の負託に応えるためにも、まちづくりの主体は「地域住民」であることを基本理念とし、将来にわたるまちづくりの指針としての「第五次利尻富士町新まちづくり計画」の着実な実施に努める所存でありますので、これまでと変わらぬ叱咤激励をいただきますようお願い申し上げます。

行財政改革

「利尻富士町行財政集中改革プラン」は二十一年度で五ヶ年の当初計画は一応終了しますが、町民の皆様が継続して安定したサービスを提供するために、行財政改革の手を緩めることなく、行財政運営は「最小の経費で最大の効果」を基本として、引き続き二十二年以降も次の改革プランを策定すべく本年度中に行革委員会とも相談してまいります。

また、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が昨年四月に施行され、平成十九年度決算に基づく財政指標の算定、公表が行われました。本町は、いずれの数値も基準値以下となっ

ていますが、健全化法が全面的に施行される二十年度決算からは、財政指標に応じて財政健全化計画の策定等の規定が適用されることとなりますので、一般会計はじめ各特別会計を含めた行財政の合理化への取り組みなど財政の健全化をより一層進めます。

平成二十一年度の町政の執行については、昨年からスタートした新まちづくり計画にある「ふるさとの元氣と輝きをもとめて」を実現するため、五つの目標に向かって、行政として果敢に諸施策を実施してまいります。

以下、具体的な施策につきまして項目ごとに申し上げます。

一、活力に溢れ自然に やさしい産業のまち

水産業について

● 昨年度利尻島内の四単協が合併して「利尻漁業協同組合」が新たにスタートしました。漁業生産額の総額は三十三億九千六百万円、利尻富士町分では十七億九千三百万円（駕泊 十三億二千八百万円・鬼脇 四億六千五百万円）、前年比で一億九千九百万円の減となりました。この減収の要因としては、天然昆布・養殖昆布の価格の低迷のほか、ウニ・サケ・ヒラメの減産が大きく影響したものと認識しております。「ウニ」は、最北の国立公園「利尻・礼文」にとっては「利尻昆布」と双璧を成す

代表的なブランドに位置づけられ、昨年の北海道洞爺湖サミットでも歓迎レセプションで「利尻のウニ」が提供されたことが報道されたこともあって、今年は昨年以上の需要があるものと期待され漁協・水産指導所などと連携を図りながら資源の調査・分析を行い、その結果を基に対処してまいります。

「ノナ」は、今後も漁場の生息密度や餌となる海藻の分布状況などの現状を分析し、漁協とも連携を図りながら適正な漁場環境への改善と資源の適正管理のための事業などを推進します。「ナマコ」は北海道においても重要な漁業資源と位置づけられており、その増養殖技術の確立に取り組んでいるところで、昨年十二月には「ナマコプラザ」が漁業者・漁協職員・両町水産関係職員などを対象に開催され、改めて「ナマコ」に対しての関心の高さと資源としての重要性を認識したところであります。

「養殖昆布」は、近年着業した方々の事業も軌道にのってきていることから、毎年百四十トン台の安定した生産が続いています。このため二十一年度においても新たに駕泊二地区（大磯・雄忠志内）から要望のあった施設整備を実施して漁家経営の安定を図り、また、新規着業者への積極的な支援を行います。

「天然昆布」は、十二月に実施した再生率調査では、採取した一年生昆布

から再生の有無を計測した結果、水深二〜四mでの再生率が二〇・二%となっており、結果として若干高めの再生率となっており、このまま順調に生長することに望みをかけ、各地先でも再生が進み生産増に繋がることが期待するものであります。



天然昆布漁

●水産関係事業では、北海道が整備を進めている「利札地域広域漁場魚礁（鬼脇）設置事業」は継続してF.P.魚礁の製作・設置が予定されておりますが、鬼脇地区については要望のあったホタテ養殖施設を補助の採択が決定されれば整備拡大を図ります。本施設については、国、道が勧めている新規漁業就業促進対策事業とも関連し、漁業研究者にとつての研修施設・就業施設・収入の保障施設でもあるほか、観光産業にも関係の深い地元食材提供施設など多様な一面も要している施設であります。

ますので、北海道に対し強く要望し補助採択に努力します。

●つくり育てる漁業の関係では、「サケ」が昨年・一昨年と二年連続で不漁年となりましたが、この状態は、北海道全体にも見られ、特に日本海側が顕著であり、孵化事業用の親魚確保にも苦労があったと聞いております。

こうした中、日本海対策も含めて宗谷管内さけ・ます増殖事業協会では利尻富士町内に「新ふ化場」の建設計画を進めており、その計画は管内増殖の理事会・運営委員会でも承認され、早ければ二十二年度中にも着工される見通しとなっております。

●平成十七年度から導入された「離島漁業再生支援交付金」は五年間の時限立法のため今年度が最終年となります。この事業ではこれまで漁業振興のため諸々の事業を展開して漁場改良整備等の実績を収めてまいりましたが、その実績を検証しながら今年度においてもこの制度の中での確・適正な事業の推進について駕泊・鬼脇両集落との協議を基に取り組むとともに、この制度の継続を求めて離島振興協議会等で協議を重ねながら継続又は新規の制度化が図られるよう運動を展開してまいります。

●港湾・漁港整備事業では、駕泊港中央物揚場（一三・〇m・旧フェリー埠頭）・東物揚場（一三・〇m・マリナーホテル前）・用地及び道路改良が予定されているほか、鬼脇港区では整備要

望をしていた船揚場改良の設計業務が見込まれており、この整備の中には漁船上架設基礎部の整備も含まれておりますので、町としては翌年の船揚場改良に合わせて漁船上架設の整備を行います。また、駕泊港・本泊漁港の漁船上架設の塗装やワイヤーが相当傷んできておりますので塗装、交換等を実施します。

●漁港整備は、北海道の事業認可された雄忠志内漁港で設計業務が行われる見通しです。本泊本港・大磯分港は、防風柵設置・船揚場嵩上げ改良などが実施されるほか、各漁港の維持補修についても土木現業所等関係機関に対し要望してまいります。

●漁業後継者は、昨年鬼脇地区に三名の後継者が誕生しました。年々漁業者が減少する中、漁業就業確保を目的に、町・漁協など関係機関で「利尻地域漁業就業対策協議会」を設立し、漁業就業の希望者を対象に漁業体験研修「漁師道」を企画し、研修内容としては受入れ漁家で二週間の漁業研修を行い、漁業への理解と適正などを判断するものであり、漁家、研修者の双方が一致すれば引き続き水産会などが行う長期研修事業にシフトすることができ、比較的短期間でのレベルアップが可能となっております。この事業については、実施した結果を見直しながら内容を充実して本年度も実施してまいります。

観光について

● 昨年の観光入り込み客数は、上期で前年比九五・七%の十七万二千二百人と、依然として減少傾向が続いています。

下期についても、昨年の一万余人台をキープできるか微妙ですが、前年度並みは難しいのではないかと推測しています。しかし、上期の宿泊客数は若干ではあります。前年を上回っており、この要因を分析しながら今夏に繋がるよう観光関係者の知恵を結集して努力しなければならぬと思っています。

● 観光振興策については、稚内市の地域再生マネージャーとも連携を図りながら道内客の集客を積極的に行うとともに、観光宣伝活動では、宗谷シーニックバイウェイ活動として、昨年末には東京、名古屋に各観光協会長、フェリー・バス会社などから十二名の参加を得て全日空各支店を訪問したほか、東海ラジオにも出演して観光誘致キャンペーンを実施していますので、その効果は今夏に現れることに期待し、また、管内の観光振興協議会では、旭川市・下川町・東川町など関係機関で組織する「あさひかわ観光誘致宣伝協議会」と合同で台湾キャンペーンも行っており、海外も視野に入れながら観光客の誘致に積極的に取り組みます。また、道内容を対象とした「利尻島パークゴルフツアー」、関東圏在住者を対象にして温泉を核とした「スノーシュー

ー・歩くスキー体験ツアー」、管内市町村の「温泉周遊券」の検討、フェリーターミナルから町内観光施設へのシヤトルバスの運行導入など検討すべき課題は多々あることから、「いま、旅は北から」を意識して町・観光協会・宿泊業組合、観光関連業者はもとより、近隣市町村や管内観光振興協議会など各機関との連携を深めながら、国立公園「利尻島」の自然・体験・健康・癒し・食などインパクトの強い観光を指して邁進する所存でありますので一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 観光施設整備の関係では、「南浜湿原周遊木道」を改修し、ゆつたりと安全に利用できる環境と貴重な湿原植物の保全を図ります。また、「夕日ヶ丘展望台歩道」を整備するほか、老朽化が著しい「北麓野営場」についても、「モニユメント・管理棟・キャンプサイト」等施設の安全利用を考慮しながら順次整備を進めて滞在・体験観光を推進します。

● 姫沼園地については、二年前から専門機関により姫沼の「水」を活用した発電の可否について調査を行ってきましたが、結論として発電は可能であるが使用予定電力量には不足することが判明したことから「小水力発電」の導入は断念せざるを得ません。このため環境省は電気が確保できればトイレ改修も計画できるとのことから、町とし

ても島内一の観光地である「姫沼」の環境に配慮し、また、訪れる方々への利便性を考慮し、道道側から地下埋設での電気供給のための外線工事を進めます。園地トイレ改修及び水洗化、休憩舎改修、非常用無線、携帯電話アンテナの設置などが可能となります。



南浜湿原

健康づくりと生きがいのある福祉の実現

町民の皆様が、健康で明るく元気に、そして安心して生活を営むためには、保健・福祉・医療の三者が一体となつた充実した町づくりが求められております。福祉施策の根幹である社会弱者の支援と健康を保持するために、社会福祉団体や住民、自治会等との連携を深めながら住民の意見を吸い上げ、「健

康づくりと生きがいのある福祉の実現」を目指して積極的に対応してまいります。

保健・医療関係について

● 生活習慣病が年々増加し、健康への関心が高まってきているこのときに、各年齢層のライフステージに応じた健康づくりを推し進めることを目的に、一時予防対策として、疾病予防や健康の保持増進を推進するため、健康教育、健康相談、訪問事業の充実、健康への意識啓発など、きめ細かな対応のもとに町民一人ひとりが健康を実感できる体制の充実を図ります。また、保健事業では、「特定健診・特定保健指導」の目標値達成に向けた集団検診を春と秋二回を実施するとともに各種がん検診や予防接種、乳幼児健診を実施するほか、乳幼児医療費の助成などもこれまで同様の内容をもって実施します。

● 医療体制については、昨年五月に高島所長が着任し、疾病の内容を患者に対して親切丁寧に説明していただき、大変喜ばれており、車椅子や歩行が困難な方々には希望があれば訪問診療も行っておりますので相談していただきたいと思えます。今後とも安心と信頼を得ることができるよう診療体制に努めるとともに、疾病の予防、早期発見に対応できるよう保健福祉センターとの連携を密にいたします。

● 鬼脇歯科診療所は、昭和五十年に開

設以来、診療施設、医師住宅も老朽化が著しく更新期が課題となっており、**「地域活性化・生活対策臨時交付金」**（国の二十年度補正予算）を活用して、鬼脇支所を防災拠点施設として整備します。これと併せ二十一年度予算をもって歯科診療所と歯科医師住宅を併設した建物として新築整備を実施します。



鬼脇歯科診療所

地域福祉関係について

● 地域の方々が安心して生活ができるように、ひとり親家庭等医療給付事業を継続するとともに、生活支援の相談体制を充実させるほか、低所得者層を対象とする燃料購入扶助事業は、十九、二十年度と二年度間、燃油高騰対策として範囲を拡大して支給してましたが、現在のところは灯油の価格も安定してきておりますので、今年度は平年の実績のもとに算出して予算計上を行って

います。
十九年度から住民の皆様方のご理解のもとに導入している敬老バスの有料化は、地域懇談会等でも説明しながら納得していただいていると考えておりますので、本年度においても利用者負担は小さくはありませんが、継続して実施すべく更新の周知を図りたいと思っております。

高齢者福祉関係について

● 生活習慣病予防・介護予防の支援事業や給付事業、相談支援を実施しながら生きがいづくり、世代間交流などの介護教室、家族介護交流会を開催して介護に関わっている方々のストレス解消を図るほか、福祉課では交通弱者を対象とした高齢者移送サービス事業等を積極的に推進しており、これら健康管理、弱者救済は高齢者を敬う上で最小限であるとの位置づけのもとに、保健指導体制の充実強化を図りながら継続して実施いたします。

障がい者福祉対策について

● 島外施設入所者の地域生活や就労系事業所への移行を確認するとともに自立支援を充実させ、また、更生医療・精神通院公費の給付を実施するほか、島内障がい児を対象とした子ども発達支援センターと障がい者地域活動支援センター「ひまわり」の運営、重度心身障がい者医療費扶助を継続して実施

します。

児童福祉・少子化対策について

● 児童福祉関係では、昨年、篤泊幼稚園と本泊保育所を篤泊保育所に統合して一年が経過しました。特に今年度は、入所児の低年齢化が進み、予想を超える入所児が通所する見込ですが、保育ニーズが多様化していることから、臨時保育士の確保を図って保育体制の充実と保育環境の整備に万全を期してまいります。また、鬼脇保育所は、遊戯室と事務所に雨漏りが見受けられるため、これらの補修事業を実施して幼児保育に支障がないよう取り計らいます。

● 妊産婦の島外の医療機関を利用する場合の出産支援として、検診、分娩に関わる交通費（フェリー料金）の全額補助と宿泊費の一部助成を継続してまいります。また、妊産婦検診の助成制度が四月から現行の四回から十四回に拡大されて二年度間継続されて実施することになっていきます。

各保険制度について

● 国民健康保険事業の出産育児一時金は、今年一月から三十五万円が三十八万円に引き上げられ、さらに今年十月からは四万円引き上げられ、四十二万円になります。

七十歳から七十四歳までの高齢者医療は、国の制度化によってこれまで一割負担に軽減凍結されておりました

が、今年度においても一割負担で制度を継続することになっております。

● 長寿医療制度については二年目を迎えますが、この制度上保険料は全道一律で賦課されることを原則としながらも、本町の場合は一人当たりの医療費が著しく低いため前年度と同額に軽減されることになっていきます。また、低所得者の方には、七割、五割、二割の軽減措置がなされておりますが、七割軽減世帯は、昨年は十月からの半年間は全額免除の措置が講じられましたけれども、新年度は所得状況に応じて九割、七割、五割、二割の四段階に区分変更になります。

● 六十五歳以上の方が対象の介護保険事業については、現在の月額「二千九百四十円」を、国庫の助成、積み立て準備金の活用、税制改正の激変緩和の廃止などを総合的に勘案して前期保険料と同額に据え置くことに決定いたしました。

三、快適で緑豊かに安全な生活環境のまちづくり

道路・市街地整備関係について

● 篤泊市街地道路拡幅整備事業については、港町の一部の補償交渉が予定されておりましたが、現道確保のためのボックスカルバート工事に備えることになりました。また、旧役場庁舎付近の埋蔵文化財発掘が行われることになっており、

本工事に向けた準備が本格化します。
 ●まちづくり関係では、意向調査結果を参考にして「まちづくり協議会」からの空き地状況を把握しながら、町としては駕泊市街地の道々拡幅に伴って必要な施設等を図面に落とし込みたいと思います。ただ、この計画をスムーズに進めるためには何と言っても沿道住民の協力が不可欠であると考えておりますので、関係者の皆様へ積極的に要請を行ってまいります。

住宅関係について

●鬼脇地区で昨年から下水道が供用開始となりましたので、公営住宅個別改善事業で下水道接続・水洗化工事を実施しており、今年度も継続して実施するほか、駕泊地区では富士見団地（昭和四十年建設）二棟八戸の解体も実施します。

治山・治水・砂防関係について

●昨年は、アフトロマナイ川・ヤマナイ沢川の大規模工事を関係機関の特別な配慮によって実施していただきました。今後も地域住民の安心、安全、そして漁業被害防止のため、町、漁協、地元関係者と連携を深めて、災害の未然防止のため河川整備実施を関係機関に要望してまいります。

本年度は、ヤマナイ沢川の床固工・護岸工、アフトロマナイ川の既設の導流堤改良が見込まれているほか、昨年

の集中豪雨で一部決壊があった雄忠志内川の床固工・分散工、除石などの事業が実施されます。また、二股沢川では捕捉工の整備をもって完了する見込みです。
 ●町の単独事業としては、小規模治山事業として継続して整備を進めてきた姫沼地先の護岸工を本年度で実施することによって完成となります。

防災・交通安全対策関係について

●災害から町民の生命と財産を守り被害を軽減するためには、災害の未然防止や災害発生初動期における的確な応急対策など、総合的な地域防災体制の確立を図ることが必要であります。そうした最悪の事態に対処するため、町民や町職員をはじめ自治会等関係団体との連携を図りながら防災意識の高揚を図り、いざという時に対応できる体勢づくりに努めてまいります。



●当町の事故死ゼロの記録は昨年五月六日に一〇〇〇日を達成することが出来ました。さらに、この記録を更新するため今年九月十八日の一、

五〇〇日、そして二、〇〇〇日为目标に掲げ、「飲酒運転の根絶」を重点運動目とし交通安全運動を展開してまいります。今後も関係機関、関連団体と緊密に連携しながら交通安全教室の開催や職場訪問・街頭指導等に取り組み、交通安全対策に努めます。

四. 心豊かな人と文化を育むまちづくり

※教育行政施政方針参照

五. 町民と行政との協働のまちづくり

町民との協働関係について

●行政と地域住民が協働できる「まちづくり」を進めるためには、お互いが「自助・共助・公助」を認識しながら「地域力」を高め、地域の連帯意識を共有し合って、初めて「町や地域が輝く」ことができる住民が主役のまちづくりが可能になると思っております。これが実現のためには、行政は町民自らの立案と発想・提案を受け入れることができる体制整備が必要であり、また、行政が進めようとしている施策の情報地域の方々素早く伝達することが不可欠であります。これまで住民を主体とした地域懇談会、新春座談会、行政事務説明会等を開催、また、自治会

長会議、納税貯蓄組合長会議、各種会議の場を借りて行政の内容を説明するとともに、地域の方々からの意見も頂戴しながら行政の施策に取り入れ、議会の皆様を始め町民皆様からのご指導、ご協力をいただいているお陰もあつて、スピード感をもって行政運営ができていくことに感謝しているところであります。



これに奮ることなく今年度においても、これまでの懇談会等はもちろん町広報誌やホームページを充実させるなどして行政の情報公開を積極的に進め、地域の方々からの意見を集約しながら住民参加の行政運営に努力します。

平成二十年度財政運営について

●当町の財政は自主財源に乏しく財源の多くを地方交付税に頼らざるを得ません。国は、「国民本位の行財政への転換」と題し、地方分権改革を断行することとしており、地方財政対策にお

においても引き続き地方歳出を抑制する方針に変わりはなく、先行き不透明な状況にありますので、町財政基盤の安定確立に努めなければならないと考えています。

●自主財源の主軸である個人住民税は、漁業生産額の減少と景気低迷によって前年度比で千百万円減、町税全体では前年度比四・二%減の二億八千二百九十三万三千円となり、歳入不足は極めて厳しい状況下にありますので、使用料・手数料などの貴重な自主財源を確保するとともに、納税の公平性を保つためにも町民の理解を得ながら、引き続き滞納整理を強化してまいります。

●国、道の財政状況を始め地方財政の危機的状況は予断を許さないものと言わざるを得ません。このように内外情勢が厳しい中、平成二十一年度予算においては、中・長期の展望をもちながら限られた財源の重点的・効率的な配分に留意し、保育料の見直しや職員の退職不補充、さらには経常的な事務事業経費の抑制を図りつつ、地域の皆様の暮らしに影響を及ぼす行政サービスの低下を避けることを念頭に予算編成を行いました。

その中で、一般会計の建設事業費は、七億三千五十万五千円（前年度対比二九・九%増）を確保しているほか、二十年度補正予算の繰越明許費で実施する防災拠点施設（鬼脇支所）の事業費一億二千万円も含めて雇用対策、景気

対策を講じようとしています。

●一般会計歳入歳出予算の総額は三十億九千百万円とし、対前年度比で二億六千六百万円増、率にして七・五%の増となり、収支のバランスを維持するため不足財源を財政調整基金から三千八百百万円、育英事業基金から九十二万四千円、ふるさと創生基金から三十四万四千円、医療技術者修学資金基金から四十四万四千円など総額四千六十六万円を

基金からの繰入によって歳入、歳出の均衡を図っております。

各特別会計も合わせた町全体の予算総額は、北海道からの受託事業もあつて対前年度比三億二千三百五十一万七千円増、率で六・一%増の五十六億九百二十六万四千円の予算規模であります。

以上、平成二十一年度の町政執行に臨む所信の一端を申し述べさせていただきます。

いただきましたが、私は、今年度の行財政運営に様々な課題を抱えながらも多様な潜在力と限りない可能性を秘めた「利尻富士町の故郷づくり」に向かい、気概をもって全力を傾注して取り組む所存でありますので、今後とも町議会の皆様をはじめ町民の皆様のご温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年度 建設事業一覧表

【一般会計】

単位：千円

款	事業名	事業費
総務費	地籍調査事業	3,067
	町有施設下水道接続関連工事	13,334
	役場庁舎倉庫設計監理業務委託料	2,000
	役場庁舎倉庫建設工事	21,000
	町有施設解体工事	15,113
	支所連絡車購入	1,750
	開発センター駐車場照明灯改修工事	1,500
	総合行政システム整備	5,128
	ポスター掲示場設置工事（衆議院議員選挙）	500
	ポスター掲示場設置工事（町長・町議会議員選挙）	735
計	64,127	
民生費	鬼脇保育所改修工事	1,833
	計	1,833
農林水産業費	町有林保育事業	5,000
	小規模治山事業	12,600
	離島漁業再生支援交付金	51,680
	漁業振興施設整備事業補助金	15,300
計	84,580	
商工費	北麓野営場改修工事	3,657
	南浜湿原木道改修工事	10,400
	夕日ヶ丘展望台歩道改修工事	3,000
	姫沼園地電源供給工事	22,000
計	39,057	
土木費	鴛泊市街10号線改良工事	24,000
	直轄港湾負担金	80,000
	鬼脇港漁船上架施設設計業務委託料	655
	漁船上架施設整備工事	8,000
	利尻富士利尻線交付金（改築）工事移転補償費	362,740
	公営住宅補助事業積算業務委託料	734
	公営住宅個別改善事業	17,450
	公営住宅解体工事	5,006
飛行場標識施設補修工事	2,055	
計	500,640	
消防費	防災無線屋外局改修工事	688
	計	688
教育費	校舎・教員住宅補修工事	1,000
	鴛泊小学校修繕工事	450
	体育設備点検工事	569
	鴛泊中学校大規模修繕調査業務委託料	693
	鴛泊中学校修繕工事	389
	鬼脇中学校修繕工事	735
	公民館暖房設備取替工事	4,212
	埋蔵文化財発掘調査	30,938
	富士見ヶ丘球場修繕工事	110
	多目的グラウンド整備工事	484
計	39,580	
合計	730,505	

平成21年度 教育行政 執行方針

利尻富士町教育委員会が所管いたします教育行政の執行と、その方針を申し述べますので、町議会並びに町民の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

我が国の経済は、外需・内需ともに停滞し、景気の悪化が長期化・深刻化する事が懸念されています。特に雇用情勢は急速に悪化しており、これまでの成長を前提とした考え方や社会の枠組みに大きな変革が求められています。同じように、教育を取り巻く環境も大きく変わってきており、学校や家庭、地域社会において、様々な問題が生じています。

このため、国においては、平成十八年に約六十年ぶりとなる教育基本法の改正を行ったほか、教育関連三法の改正、学習指導要領の改訂など、新しい時代に対応した教育の基本理念が示されているところ



利尻富士町
教育委員会と

いたしましては、国から示された教育施策を基本としながら、「心豊かな人と文化を育むまちづくり」を目標とし、関係部局や各種機関、団体と連携を図りながら、特色ある教育活動の推進に取り組んでまいります。

一・学校教育の推進について

子どもたちが健やかに成長していくために必要な、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」などの「生きる力」の育成が強く求められているほか、「知・徳・体」のバランスの取れた児童生徒の育成が重要な課題となっております。

教育委員会では、利尻富士町学校教育の新たな指針となる「利尻富士町学校教育推進計画（平成二十一年度～平成二十五年度）」を策定し、「自然を愛する豊かな心と高い知性を持ち、二十一世紀を切り拓くたくましい子どもを育てる教育を進める」ことを目指した、信頼される魅力ある学校づくりを推進してまいります。

（一）確かな学力の向上を図る教育の推進

子どもたち一人ひとりが学習意欲を持ち、学びながら個性や能力を伸ばし、社会に出てから自立できる力を身につけるよう、基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得し、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力などの能力を育むこと

が求められています。

学力向上の取り組みについては、平成十九年度から文部科学省による全国学力・学習状況調査に参加しています。本町では調査対象である小学校六年の国語・算数と中学校三年の国語・数学で、いずれも全国の平均正答率を下回っているほか、全道との比較においても小中学校ともに国語についてはやや上回っているものの、算数・数学では下回っているため、本町の子どもたちには基礎的・基本的な知識や家庭における学習習慣が十分には身につけていないなどの課題が明らかになっています。

町内各学校では、調査で得られた結果を詳細に分析するとともに、その結果を踏まえた学校改善プランを作成しているところです。教育委員会としても、改善プランに沿った支援に努めるとともに、家庭学習を含めた各種テキストなど購入のために必要な予算を増額し、学校と一体となつて「確かな学力」の向上を図るための教育を推進してまいります。また、学校図書の実用コンピュータ四十二台を更新いたしますが、操作能力を養うばかりではなく、情報を正しく利用するモラルやマナーの育成など総合的な情報教育に取り組んでまいります。

国際理解教育につきましては、宗谷教育局の支援による外国語指導助手(A

LT)の派遣事業を引き続き行います。中学校では、簡単な情報交換ができるような基礎的・基本的なコミュニケーション能力の向上に努めるほか、小学校においては、平成二十三年度から必修となる外国語活動の円滑な導入に向け、新たに外国語活動を予算計上しているほか、将来的な外国語指導助手の配置について本格的に検討してまいります。

特別支援教育につきましては、状態に応じた適切な指導や配慮によるきめ細やかな教育が必要です。四月からは、利尻小学校と駕泊中学校に特別支援教育学級が新たに開設される予定であり、それに関わる経費を予算計上しております。また、LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥・多動性障害）及び高機能自閉症などを含めた心身に障がいのある子ども一人ひとりの教育的ニーズの把握や、特別支援教育に対する保護者の理解を得るための学習会の開催などに取り組んでまいります。

（二）豊かな心を育てる教育の推進

「生きる力」を育むためには、豊かな心を育てる教育が最も大切なことであり、家庭や地域、関係機関等との連携を図りながら、社会全体で子どもたちに命を大切に心、思いやりの心など、基本的な規範意識を育成することが求められています。

そのためには、道徳の時間に「心のノート」を活用するなど、子どもたちの心に響く道徳教育を推進するとともに、ボランティア活動などの社会体験や利尻島ならではの豊かな自然環境を活用した特色ある教育活動や読書活動など、豊かな人間性の育成に努めてまいります。また、学校・家庭・地域が一体となって食育の充実を図るほか、健康づくり教育推進委員会による取り組みを充実させ「健やかな体」の育成を推進してまいります。

保護者などへの教育費支援につきましては、経済的な理由により負担が困難な児童や生徒の保護者に対し学用品や給食費などの就学援助を行うほか、高校生や大学生には奨学金を貸与し、引き続き経済的負担を軽減して幅広く有能な人材の育成を図ってまいります。

(三) 信頼される学校づくりの推進

学校が、保護者や地域の信頼に応え、子どもの健やかな育成を図っていくためには、「生きる力」の育成を基礎・基本として、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の定着を図り、生涯にわたる学習の基盤をつくりあげるための教育活動の展開が重要です。

各学校では、学校教育への信頼を確かなものにするため、特色ある学校づくり、地域に開かれた学校づくりを指し、創意に満ちた学校教育目標を掲げて日々努力しておりますので、教育

委員会としても目標がより効率的に達成できるよう支援してまいります。特に、昨年から導入された「学校支援地域本部事業」を有効に利用して、地域の人材を活用した特色ある活動を推進するとともに、保護者や学校評議員による外部評価や学校による自己評価の取り組みを積極的に進めながら、学校公開を積極的に進め情報提供や広報活動を充実してまいります。また、教職員一人ひとりが強い使命感や高い専門性を持ち、課題に的確に対応できる資質や能力を有することが求められていることから、各学校における校内研修はもとより、初任者研修や町教育研究会の研修・研究活動を支援するとともに、北海道教育委員会が実施する各種研修講座への参加促進を図ってまいります。

(四) 安全で快適な教育環境の充実

今日、社会問題となつてきている児童生徒の安全確保につきましては、町内全校において緊急時を想定した避難訓練を実施するほか、子どもたちが自ら身を守ることができるよう、安全教育の指導徹底を図ってまいります。また、登下校時の安全対策では、交通安全指導の徹底を図るほか、不審者による事件、事故などの被害から子どもを守るため、学校・家庭・地域・警察・関係団体などと連携・協力して、地域全体で子どもたちの安全を確保するための

新たなセーフティネットワークの構築を推進してまいります。



交通安全教室「青空教室」

いじめや不登校につきましては、携帯電話やインターネットの普及に伴い、その要因や実態がますます多様化・複雑化していますが、早期発見・早期対応が最も有効な解決策であることを踏まえ、学校ばかりではなく、家庭や地域とも連携を図りながら、その対応に努めてまいります。宗谷管内においても、昨年八月にインターネットによる中傷の書き込みで端を発した高校生の自殺事件が発生していますが、教育委員会では、命の大切さを実感させるた

めに「命の教育の充実のために」心に響く生徒指導の充実」と題した新たな提言を取りまとめましたので、本年度にはこの提言の周知・普及を図り、学校・家庭・地域が一体となって、いじめ根絶に向けた取り組みを進めてまいります。

学校の施設整備に関しましては、各学校バスケットゴールの点検や駕泊小学校一年生教室の改修工事、駕泊中学校大規模改修調査業務委託、駕泊中学校外灯設置工事、鬼脇中学校油タンク切替工事、各小中学校校舎・教職員住宅の補修工事のほか、教材関係備品整備として義務教育教材備品費、学校図書購入費などを予算計上しております。

二・社会教育の推進について

芸術・文化に触れてみたい、スポーツを楽しみたい、そのような子どもから高齢者までの多種多様な学習機会の求めに応えるため、適切な情報と場の提供や指導者の育成を図り「いつでも、どこでも、だれもが」生涯にわたって学べる教育環境を整え、地域に密着した社会教育事業を推進してまいります。

(一) 豊かな人生を支援する生涯学習の推進

町民一人ひとりが、生きがいと潤いのある人生を過ごすためには、生涯にわたる学習活動を通して、自らを高め、心を豊かにしていくことが大切であります。

教育委員会といたしましては、これらの活動を支援するため、生涯学習講演会を開催するほか、乳幼児期から絵本を通して母子のきずなを深める「ブックスタート事業」や、読書環境の充実に努めてまいります。

公民館については、地域住民の交流の場として最も身近な社会教育施設でありますので、地域に密着して広く仲間づくりが出来るよう、各種団体と連携、協力をしながら、かるた・スキークーネーション作り教室などの趣味の講座や健康づくり教室、レクリエーションなど、心の豊かさを実感できる事業を展開してまいります。



カーネーション作り教室

(二) 豊かな心を育む青少年の健全育成
いじめや不登校など、子どもに関する事案が社会問題化する中で、対策の

強化はもとより、大人自身が率先垂範の考え方をもち、地域全体で見守り、育てることが何より大切であります。本年度からは、利尻富士町青少年健全育成町民会議が一月から取り組んでいる「学校支援地域本部事業」が本格的にはじまります。この事業は、地域住民がボランティアとして、自らがつている知識や技術経験を子どもたちの教育に生かしながら、学校の授業や体験活動、スポーツなど様々な活動を支援する取り組みであり、生涯学習の成果を生かす絶好の場と考えております。次代を担う心豊かな子どもたちを育成するため、北海道ジュニアリーダー育成事業への助成もこれまで同様継続するほか、利礼三町児童交流事業を新たに展開してまいります。また、新規の事業として、夏休みを利用した工作・少年サッカー・自然体験教室などの体験活動や英会話・算数・水泳教室などの学習活動、書道教室などの交流活動を行う「放課後子ども教室推進事業」に取り組んでまいります。

(三) 豊かな感性を育てる芸術文化の振興
芸術文化の振興につきましては、本年度も利尻富士町文化協会に対する助成を継続するとともに、生の芸術に直接触れることのできる巡回小劇場の開催や三年連続となる札幌交響楽団による演奏会の開催など、心の豊かさや情

操を高める活動を展開してまいります。文化財の保存や継承につきましては、学芸員による出前講座など各種事業の推進、さらに町広報紙、文化財日より「ボンモシリ」などを通して、広く地域住民に周知してまいります。また、町指定の有形文化財である金刀比羅神社の保護、保存のための助成を行うほか、

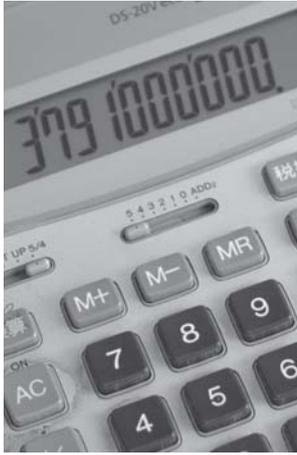


金刀比羅神社

本年度から、鴛泊市街地道路改良工事に伴う埋蔵文化財調査が北海道からの委託によりはじまりますが、この調査は利尻島の歴史を紐解く絶好の機会でありますので、子どもたちはもとより、地域住民を含めた発掘体験教室や説明会、報告会などを開催し、埋蔵文化財の保護と普及に努めてまいります。

(四) 健やかな心身を育むスポーツの振興
子どもたちがスポーツに親しみ健全な心身を育むうえで、重要な役割を果たしている利尻富士町スポーツ少年団や、本町のスポーツ振興の中心を担う利尻富士町体育協会などに対し、引き続き助成を行い、各種スポーツ大会や行事などを支援するとともに、体育指導員によるスポーツの技術向上を図りながら、町民が「いつでも、どこでも、だれでも」気軽に取り組むことができるよう、生涯スポーツの普及に取り組んでまいります。また、回を重ねるごとに参加者が増え、今や利尻島を代表するスポーツ・イベントへと大きく成長した「利尻島一周悠遊覧人G」に対しても、できる限りの協力をしてまいります。

以上、平成二十一年度の利尻富士町教育委員会の教育行政執行方針について申し述べましたが、その執行にあたっては、各関係機関、団体との連携を図りながら、ふるさと利尻富士町の未来を担う子どもたちの健やかな成長と創造性豊かな特色ある生涯学習社会の充実に向け、一層努力してまいりますので、町議会の皆様をはじめ町民の皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。



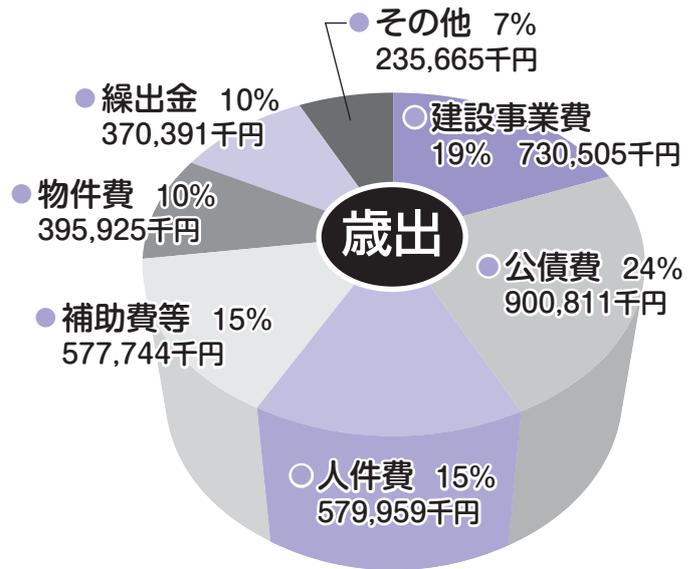
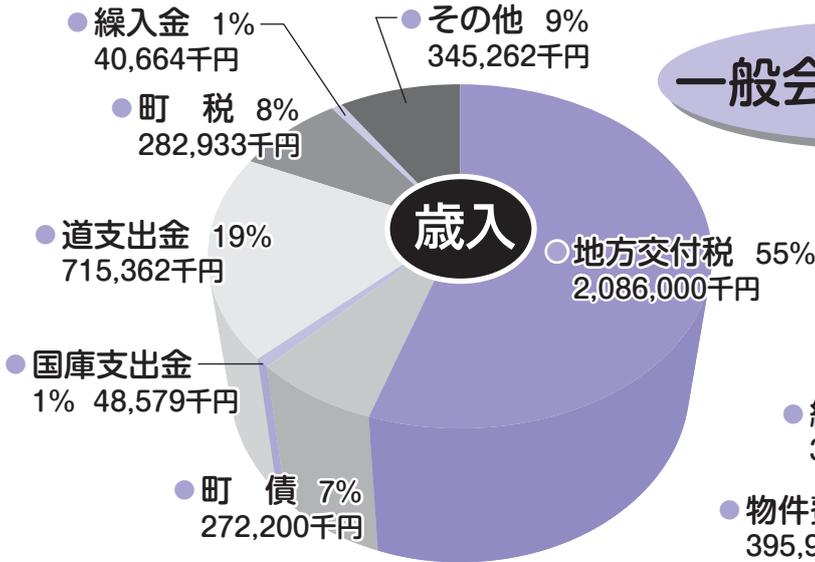
一般会計の歳入・歳出予算額は…

37億9,100万円

平成21年度の当初予算額は、前年度比7.5%の増となっております。特別会計の合計18億2,827万円と合わせた町の予算総額は56億1,927万円で、平成20年度当初予算と比較すると、約6.1%（3億2,352万円）の増額となります。

平成二十一年度の
予算概要
をお知らせします。

一般会計予算は？



特別会計予算は

単位：千円

	平成21年度	平成20年度	比較
簡易水道事業特別会計	77,721	84,725	△ 8.3%
下水道事業特別会計	216,684	196,086	10.5%
港湾整備事業特別会計	8,093	5,164	56.7%
温泉事業特別会計	67,611	65,222	3.7%
国保事業特別会計	446,812	455,462	△ 1.9%
老人保健特別会計	1,516	53,715	△ 97.2%
後期高齢者医療特別会計	39,821	42,740	△ 6.8%
介護保険事業特別会計	286,760	309,871	△ 7.5%
介護サービス事業特別会計	460,767	452,289	1.9%
歯科施設特別会計	148,246	37,001	300.7%
国保施設特別会計	74,233	68,472	8.4%
合計	1,828,264	1,770,747	3.2%

目的別歳出予算

単位：千円

科目	予算額
議会費	46,392
総務費	420,950
民生費	434,569
衛生費	353,659
労働費	132
農林水産業費	119,420
商工費	184,269
土木費	926,327
消防費	143,023
教育費	254,486
公債費	900,811
諸支出金	3,961
災害復旧費	1
予備費	3,000
合計	3,791,000

「利尻富士町行財政集中改革プラン」の取組状況について

平成17年度に策定した新行政改革大綱及び行財政集中改革プランについては、町財政の健全化を図るため町民皆様のご理解とご協力のもと行財政改革を行っています。このたびの広報では、平成21年度までの計画のうち、平成20年度まで4ヵ年分の取組み状況をお知らせします。

●健全な財政運営の推進●

◆自主財源の確保や受益者負担の適正化による主な取組みとして

- ・保育料の適正化
- ・集会施設、体育施設等の町民利用施設を有料化
- ・温泉無料開放及び営業時間等の見直し
- ・検診自己負担の見直し など

7項目の財政効果額…3,493万円

◆経費の節減合理化による主な取組みとして

- ・新春座談会や敬老会の開催方法の見直し
- ・職員、議員、各種委員出張旅費の見直し
- ・消耗品や光熱水費などの経常的物件費の節減合理化
- ・公用車を5台削減 など

7項目の財政効果額…1,080万円

◆事務事業の見直しによる主な取組みとして

- ・老人バス無料券を利用者の一部負担による有料化
- ・敬老年金を敬老祝い金として75歳以降5歳ごとの支給に見直し
- ・委託事業や保守点検業務の見直し など

6項目の財政効果額…1,989万円

◆補助金の適正化による主な取組みとして

- ・漁業及び中小企業利子補給の見直し
- ・社会福祉協議会の人件費や訪問介護事業等補助の見直し
- ・補助金・負担金及び医療費助成の見直し など

5項目の財政効果額…2,429万円

●スリムで効率的な行政運営の推進●

◆簡素で効率的な組織への再編による主な取組みとして

- ・組織機構改革、収入役制の廃止
- ・篤泊幼稚園と本泊保育所を篤泊保育所に統合
- ・スクールバスの民間委託
- ・篤泊診療所の経営合理化 など

5項目の財政効果額…4,949万円

◆公共施設管理運営の見直し及び広域行政の推進による主な取組みとして

- ・フェリーターミナル駐車場の有料化（営業車）
- ・下水供用開始に伴う生活廃水処理施設の停止
- ・一部事務組合職員体制の見直し
- ・ごみ処理手数料の見直し など

8項目の財政効果額…4,778万円

◆定員管理や給与の適正化による主な取組みとして

- ・定員管理の適正化や早期退職制度導入による職員の削減（5年間で10.5%削減を目標）
- ・職員手当の見直しによる支給率の引下げ及び手当の廃止
- ・特別職給与の削減
- ・議員定数の見直し、議員報酬の削減
- ・各種委員会の統廃合、委員定数の見直し、委員報酬等の削減 など

15項目の財政効果額…2億8,146万円

※平成17～20年度までの4ヵ年での合計は、**4億6,864万円**の財政効果額となりました。

* 町ホームページ(<http://www.town.rishirifuji.hokkaido.jp>)にも掲載していますのでご覧ください。

6月1日は「人権擁護委員の日」

全国一斉「人権擁護委員の日」特設相談所開設のお知らせ

架空請求、育児の悩み、近隣との争い、家庭内トラブル(夫婦・離婚・扶養・相続)、借地、借家、不動産売買、金銭貸借、学校での「いじめ・体罰」等多岐の相談に応じます。

相談内容についての秘密は堅く守られます。難しい手続きもありませんし、相談は無料です。どうぞお気軽にお越しください。日程については、下記のとおりとなっております。

日時 平成21年6月1日(月) 場所 利尻島開発総合センター
午前10時から午後3時まで (2階 青年研修室)

連載⑳

ムラからマチへ ー町制50年ー

わがまち
タイムスリップ

今年は、利尻富士町にとって町制50年となる記念の年です。昭和31年に誕生した東利尻村、その3年後の34年に町制が敷かれ、東利尻町となりました。ちょうど現在の天皇皇后両陛下がご成婚された年でもありました。

さて、ひとくちに町に格上げされるといっても、人口5000人以上であるとか、中心市街地の区域内に戸数が700戸以上あること、運輸交通機関が整備され、官公署、金融機関、会社工場が他町に比べ遜色ないこと、病院や診療所、公民館、劇場等があることなどの条件がつけられました。

東利尻村は、この条件をクリアしていたことから、北海道に申請、現地調査などを経て、9月に町制が実現しました。

町制施行後、まもなく役場を鬼脇から鶯泊に移転、祝賀行事が10月30日の記念式典を中心に催されました。



鶯泊駅

式典は鶯泊小学校で行われ、ひきつづき祝宴が鶯泊中学校で開かれました。このほか、映画会や演劇、野球大会などの記念行事、HBC公開録画「この声百万ドル」、記念タバコ発売など多彩な催しが行われました。

そして12月には、鶯泊に新庁舎（昨年解体された旧庁舎）が落成され、新たな町のスタートが切られたのです。

下記期間・施設において、当時の建物を写した写真を展示します。変わりゆく町並みを記録した貴重な資料ですので、ぜひご覧ください。ご意見や情報は、教育委員会山谷（電話82-1370）までご連絡下さい。

5～10月：温泉保養施設

5～7月：鬼脇公民館

11～3月：役場ロビー



北海道銀行鶯泊支店

保健師だよ

福祉課すこやか保健係

山の雪も溶け始め暖かくなってきましたが、皆さん、いかがお過ごしですか？

6月16日（火）に北海道旭川赤十字血液センターの献血車が町内を巡回します！皆さんの善意により、無償の献血が貴い命を救うことができますので、多くの方のご協力をお願いします。詳細については、「お知らせゆしゆ富士」に掲載していますので、そちらをご覧ください。

すこやか保健係と地域包括支援センターの 担当が変わりました!!

4月からすこやか保健係に、新人の北井保健師が加わりました！すこやか保健係は、妊産婦さんや赤ちゃん、成人の方々、ご家族の皆さんが安心して、楽しく暮らしていただけるためのサポートを心掛けています。予防接種や母子関係などご相談に関する事など、いつでもお気軽に声を掛けてください。

地域包括支援センターは田代保健師が3月で退職しました。（涙）4月からはわれらがエース船橋係長を筆頭に、小松社会福祉主事、富岡保健師のメンバーで、新たなスタートをきっています！高齢者やご家族の方々が、いつまでも元気に暮らしていただけるためのご相談や介護保険に関する事などいつでもお気軽に声を掛けてください！

総合保健福祉センターは、事務やスタッフのサポートをしている荒木主任と佐藤臨時保健師を含めた以上6名のスタッフで頑張っています。



保健センタースタッフの皆さん

皆さん、これからもどうぞよろしくお願いいたします！

新人保健師の北井さんの自己紹介

氏名：北井奈緒

年齢：三十路

出身地：雨竜郡妹背牛町

好きな食べ物：鶏肉（特にササミ）

これからしたい保健活動：虫歯予防教室、
沐浴練習教室など

これから島でやりたいこと：釣り、サーフィンなど

一言：一生懸命頑張っていきますので、よろしく
お願いします！



北井保健師



鷺泊駐在所長
竹居田 隆 信

警察官ご紹介

4月から、鷺泊駐在所に勤務する事になりました、竹居田隆信です。札幌から前勤務地の名寄で一年途中下車しましたが、この度、希望地の利尻に来る事が出来ました。

家族は妻とすでに成人した子供が二人おります。

利尻島はもちろんの事、駐在所勤務も初めてです。不安な事等ありますが、すばらしい利尻富士と青海を眺めつつ、地元の“我が町のお巡りさん”と言われる様、一生懸命頑張ります。

どうぞよろしくお願い致します。



さとう ゆう すけ
佐藤 友亮 くん
H20.9.14 生
【両親】英城・真弓
【住所】清川

はじめまして!友亮です!
パパに似てるってよく言われ
る僕です。
まだ、ハイハイが出来ないの
で、コロコロ寝返ってます。
車とお風呂がだ〜いすき。
(≧▽≦)
早く、大きくなってお外で遊
びたいな〜!
僕を見かけたら、声を掛けて
くださいね!
宜しくお願いします。



我が家のNEW FACE! まな
みでちゅよ!
毎日、お姉ちゃんにかわいが
られてとっともたくましく育っ
てまじゅ(笑)
いつもニコニコ愛想満点な
私たちも、一度火がつけばさい
れんのような泣き声で家族みん
なをタジタジにさせてまぢゅ。
“ちょ”されるのだ〜いすき。
町でみかけたらどんどんいじ
って下ちゃい! よろしく!!

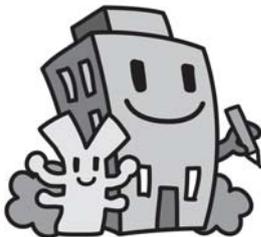


ほのまなみ
保野 真実 ちゃん
H20.11.16 生
【両親】孝之・悦代
【住所】本泊

2人の
元気な赤ちゃんを
紹介あるよ!



ビルくんとかイちゃん



6月から事業所及び
企業に調査票を
配布します!

これからの日本を変える基礎になります。
7月1日経済センサス-基礎調査を実施します。

調査は全国すべての事業所及び企業が対象です。

経済センサス-基礎調査は商店や工場、営業所、事務所、学校、旅館、学習塾、病院、寺院など、すべての事業所が対象となる大規模な統計調査です。

統計調査の結果は国や都道府県、市区町村などがこれからの行政を考える重要な基礎資料として活用されます。

調査票が届きましたらご記入をお願いします。
どうぞご協力をお願いいたします。



経済センサス - 基礎調査 総務省統計局・北海道・利尻富士町

平成21年度自動車税の納期限は6月1日月です。 納期限までに納めましょう。

宗谷支庁税務課では毎月最終木曜日に夜間納税窓口を開設しています。

自動車税は次の場所で納税できます。

- ◎町内の金融機関・郵便局
- ◎セイコーマート

【問い合わせ先】北海道宗谷支庁地域振興部税務課納税係

〒097-8558 稚内市末広4丁目2-27 電話：0162-33-2520(直通)

★お誕生おめでとうございます★

氏名	月日	保護者	続柄	住所
山澤龍之介 (りゅうのすけ)	12.2	玉木・由起子	長男	富士野
堀 歩夢 (あゆむ)	12.26	誠史・智美	長男	清 川
工藤 和心 (わ こ)	1.15	記史・美音	長女	栄町1
川端 愛聖 (あいせい)	2.8	剛・千代美	長男	本 町
工藤 大志 (たいし)	2.15	恵一・紫	二男	野 塚
今井明日香 (あすか)	2.23	秀明・由香	長女	栄町1
入井 綾香 (あやか)	2.28	秀人・理奈	長女	栄町1
上野日向汰 (ひなた)	3.1	康太郎・郁美	長男	栄町1
佐藤 結菜 (ゆいな)	3.2	正人・亜希	二女	栄町1
富岡 春斗 (はると)	3.24	淳・未佳	長男	鬼脇2

戸 籍 の 窓 口

♡ご結婚おめでとうございます♡

月日	氏名	住所
12.10	小林 督治 (栄町1)	藤田 記子 (栄町1)
1.7	川村 敏幸 (栄町1)	米川 美弥 (美唄市)
2.15	柴田 篤 (清 川)	種谷 瞳 (鬼脇1)

◆お悔やみ申しあげます◆

氏名	月日	年齢	住所	氏名	月日	年齢	住所
新谷 テル	12.5	91歳	雄忠志内	小堀 光子	1.4	67歳	鬼脇1
中西 利夫	12.5	73歳	富士岬	山本 俊隆	1.17	52歳	雄忠志内
室矢 吉雄	12.6	85歳	富士岬	京谷 淳悦	2.17	61歳	栄町1
佐藤 秀雄	12.9	78歳	雄忠志内	石川 カヨ	3.13	93歳	鬼脇1
山村 保	12.17	78歳	港 町	張間 欣一	3.17	76歳	鬼脇2
小島 新栄	12.22	90歳	栄町1	赤坂 謙三	3.23	79歳	石 崎
深瀧 秀雄	12.23	81歳	本 町	川村 フミ	3.26	93歳	鬼脇1
岡本 稀夫	12.30	52歳	栄町1				

編 集 後 記

早いもので5月下旬、お花見シーズンも終焉を迎え、利尻では観光・漁業のシーズンが近づいてきましたね。

今年の豊漁、観光発展に期待しているところですが、車輛も多くなるこの時期。昨年達成しました交通事故死ゼロ「1,000日」に続き9月には「1,500日」を迎えるため、今一度気を引き締め、目標達成に向けて、安全運転に努めましょう。

交通事故死 ゼロ

1,377日

5月18日現在

(3月2日 1,300日突破!!)

デイト運動実施中

人口のうごき (平成21年4月末現在)

	男	女	計	世帯
鴛泊	995	1,081	2,076	906
鬼脇	426	476	902	487
合計	1,421	1,557	2,978	1,393
昨年	△ 6	△ 4	△10	+ 2